

平成24年度

# 事業報告

社会福祉法人

広島市手をつなぐ育成会

# 平成24年度 事業報告

育成会本部

## I 活動の概要

知的障害のある人たちが人としての尊厳と権利が守られ、地域の中で安心して、豊かな人生を歩むことが会員の願いである。さまざまな問題の解決と安心できる未来に向かって、確実な施策の実施を期待し、願いや思いを、手をつなぐ育成会の全国大会や中国大会、県大会で訴えてきた。

また、会報、育成会だより、ホームページ等を通し、様々な情報を提供してきた。支部活動、委員会活動を通じて、お互いの意見交換をする中で会員のつながりの強化を図り、会員拡充に努めた。

地域福祉の拠点となる育成会総合福祉センター新館は、多機能型事業所よこがわとして、1階で生活介護、2・3階では就労継続支援B型として、4・5階は、CH/GH「よこがわ」として安定した事業運営を行っている。

事業の拡大による人件費の削減を図るため、各事業所の事務職員を本部配置とし、事務の効率化に取り組んだ。さらに整理が必要な事項も出てきているが、今後も、より効率化を図るために取り組んでいきたい。

### 1 障害者が地域で生きる権利の保障

障害のある人、ない人、全ての人とうまく共生し、普通に暮らせる社会の形成を目指して、要望活動、支部活動、障害子ども会活動、青年活動、リクレーション活動等に取り組んできた。地道な取組・行動の積み重ねの中でその成果が現れると考えるが、マンネリ化することなく活動の見直しも必要と思われる。

発達障害支援事業によるサポートファイルに関する研修会の関心も高く、どの会場も盛況であった。保護者のニーズにマッチした企画であったため、研修会をとおして、新たな会員を確保したり、育成会活動を理解してもらったりするよい機会になった。

### 2 会員の拡大と組織の強化

年度	親の会	施設親の会	学校親の会	民生・児童委員 退職校長会	育成会職員	市民
18	504	157	444	351	95	20
19	536	164	396	264	78	5
20	542	170	559	174	79	1
21	555	141	676	220	84	3
22	727	99	765	212	70	16
23	733	116	803	253	111	6
24	762	125	824	193	121	4

活動を停止していた「安佐北西支部」の活動が再開された。会員数は少数でも、意欲ある方々の集まりで、今後の活動に期待すると同時に、発展するよう支援を継続していきたい。

### 3 組織の見直し

組織の強化を図るために、組織の見直しを図った。理事会、評議員会を経て、会長の元に副会長・常務理事・各施設長、事務局長をメンバーとする経営委員会（財務・企画・人事）を設置した。月1回の定例会が開催されることとなった。

また、市育成会の第3次構想と財政改善を目指して将来構想委員会を、若手職員の育成会運営参加による活性化や職員の資質向上を目的として、企画運営委員会を隔月で開催した。

## II 会務の運営

### 1 理事・評議員会

評議員会 理事会	5月22日	第1号議案 経理規程の一部改正 第2号議案 平成23年度事業報告について 第3号議案 平成23年度会計報告について
評議員会 理事会	8月10日	第1号議案 評議員・理事・監事の選出について 第2号議案 「障害者支援施設いくせい」給食委託業者の選定について
理事会	8月22日	第1号議案 評議員・理事・監事の選任について
評議員会 理事会	11月22日	第1号議案 定款の一部変更（新規事業の追加）について 第2号議案 経理規程改正 第3号議案 職員就業規則、嘱託職員就業規則の改正について 第4号議案 設備改修、修繕等について 第5号議案 表彰規程の一部改正 第6号議案 上安作業所の今後について
評議員会 理事会	平成25年 1月29日	第1号議案 「総合福祉センター育成改修工事」について 第2号議案 サポートファイル説明会委託事業について 第3号議案 職員就業規則、嘱託職員就業規則の一部改正について
評議員会 理事会	3月21日	第1号議案 平成24年度補正予算について 第2号議案 平成25年度事業計画について 第3号議案 平成25年度予算について 第4号議案 経理規程の変更について 第5号議案 給与規程の変更について 第6号議案 グループホーム・ケアホーム職員就業規則の一部変更について

### 2 監事会

5月7・8日、各事業所ごとに監査を行った。

### 3 支部長会

年6回開催。各支部・委員会の活動状況や課題等を報告し、情報交換に努めた。

### 4 各種委員会

委員会ごとに、年間計画に基づいた活動を展開した。

### III 社会福祉事業

- 1 障害者支援施設いくせい
- 2 広島作業所（多機能型、就労継続支援 A 型・B 型）
- 3 育成会上安作業所（就労継続支援 B 型）
- 4 多機能型事業所よこがわ（多機能型、就労継続支援 B 型、生活介護）
- 5 短期入所よこがわ
- 6 広島市西部障害者デイサービスセンター（生活介護）
- 7 広島市東部障害者デイサービスセンター（生活介護）
- 8 グループホーム・ケアホーム（よこがわ・つるみ・しんぐうえん）

### IV 公益事業

- 1 広島市就労支援センター
- 2 清掃事業

育成会事務局での清掃事業としては以下表の通り 8 か所を行ってきた。発注先の清掃事業内容の見直しが毎年なされ、委託料は年々減少している中、体制の見直しを迫られる状況が生じている。また、清掃職員の加齢に伴う作業効率の低下の問題を含め、若返りの方策を検討する必要がある。

受託先	契約方法	受託場所
社会福祉事業団	特命随意	皆賀園、心身障害者福祉センター、西部こども療育センター 北部こども療育センター
広島市スポーツ協会	特命随意	広域公園
三栄産業		佐伯運動公園
その他		西部障害者デイサービスセンター、東部障害者デイサービスセンター

#### 3 職業自立訓練事業

年度当初 4 名での訓練を開始。6 月より 1 名追加して 5 名で年間を通して訓練をおこなった。内 2 名の就労が決定した。

#### 4 生活自立訓練事業

本年度は応募が少なく初級 18 名で訓練を開始する。残念ながら中級は実施予定人数に達せず実施することができなかった。この事業の目的は「本人の自立に向けた訓練」である。日頃からはなかなかできない体験ができ、修了後、生活に対する意識の変化が見られたと好評だった。

#### 5 レクリエーション教室事業

各支部で、文化・スポーツ委員会を中心に 12 回開催した。フラワーアレンジメント・フットサル・料理教室・フライングディスク教室・ストレッチ教室・コーラス・和紙で干支作り等々が行われ、延べ 240 人の参加があった。

## 6 広島市立広島特別支援学校放課後対策事業及びいきいき活動事業

この事業の目的は、放課後や土曜日、長期休業において安全な活動の場の確保と有意義な時間を提供することにより、児童生徒の健全な育成を図ると共に、保護者の就労を支援すること、家族に一時的休息を確保することである。

放課後対策事業は、新年度を5月7日より開始。利用登録者数 37 人、年間開催日数 162 日、年間延べ利用者数 1376 人、年間延べ看護師指導者数 1710 人。いきいき活動事業(土曜日)は、新年度を5月19日より開始。いきいき活動事業(長期休暇)は7月23日より開始。利用登録者数 47 人、年間開催日数 50 日、年間延べ利用者数 493 人、年間延べ看護師指導者数 613 人。利用者・保護者から、「教室」が楽しみで癒しの場になっていると好評を得ている。

なお、広島特別支援学校が南区出島へ9月に移転し、新しい学校での利用となったため、移転に伴う期間は、安全のため閉会とした。

## 7 家庭教育学級

会員の意見をもとに研修テーマを設定し、講師を招聘して6回の研修会を開催した。毎回平均 70 名の参加があり、年間延べ437人の参加があった。

6月27日	中学卒業後の進路について(シンポジウム)
7月9日	就労について
9月19日	人権学習(障害者虐待防止法について)
10月19日	特別支援教育について
10月31日	障害者一人ひとりを大切にした障害者支援について
平成25年1月23日	自閉症児者の性について

## 8 障害者 110 番事業

知的障害者 28 件、身体障害者 24 件、精神障害者 84 件、特定の精神障害者 119 件の相談を受けた。その内容は、日常生活に関することが中心であった。

弁護士相談は 13 回、のべ 20 件の相談が寄せられた。成年後見、遺産相続(生前贈与、遺言証書も含む)に関する内容であった。親の高齢にともなう相談も多く寄せられた。

# 平成24年度 障害者支援施設 いくせい 事業報告

## 1. はじめに

障害者支援施設いくせいの基本理念、基本方針に基づいて計画された、平成24年度事業計画に則り以下の事業を実施しました。

## 2. 利用者の状況

### (1) 利用者利用状況(平成25年3月31日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
女	24	24	24	24	24	25	25	25	24	25	25	25	
計	49	49	49	49	49	50	50	50	49	50	50	50	
入所者	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
退所者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

### (2) 年齢構成(平成25年3月31日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計
男	0	1	3	6	4	2	2	4	3	0	25
女	0	2	6	2	3	5	2	2	1	2	25
計	0	3	9	8	7	7	4	6	4	2	50

広島市の在籍者 : 男 23名 女: 24名 計47名
広島市以外の在籍者 : 男 2名 女 1名 計 3名
平均年齢 男:45.2歳 女:44.2歳 利用者全体:44.7歳

### (3) 障害の状況(平成25年3月31日現在)

判定	療育手帳					身体障害者手帳					
	(A)	A	(B)	B	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男	1	20	4	0	25	0	0	1	0	0	1
女	4	14	7	0	25	2	0	0	0	2	4
計	5	34	11	0	50	2	0	1	0	2	5

### (4) 施設利用の状況

月	全日利用	入外加算	報酬0円	月	全日利用	入外加算	報酬0円	月	全日利用	入外加算	報酬0円
4	1405	63	32	8	1412	106	32	12	1393	90	67
5	1432	86	31	9	1423	60	17	1	1385	139	26
6	1416	54	30	10	1459	59	32	2	1347	53	0
7	1465	54	31	11	1412	52	36	3	1492	47	11
小計	5718	257	124	小計	5706	277	117	小計	5617	329	104
合計	全日利用 17,041日、 入院・外泊加算 報酬0円			863日、			報酬0円 345日				

## 3 職員の状況(平成24年3月31日現在)

職名	人員	職名	人員	職名	人員	職名	人員
施設長	1	生活支援員	16	事務員	3	パート職員	0
嘱託医師	1	嘱託生活支援員	2	調理員	委託	臨時職員	0
統括主任生活支援員	1	看護師	1	非常勤講師	5		
主任生活支援員	2	栄養士	1	コーディネーター	2		

職員総数 : 35 名  
(内訳)

※常勤者 : 29名

施設長	: 1名
統括主任	: 1名
主任支援員	: 2名
生活支援員	: 16名
嘱託支援員	: 2名
看護師	: 1名
栄養士	: 1名
事務員	: 3名
コーディネーター	: 2名

※非常勤者 : 6名

嘱託医師	1名
講師	5名
パート職員	0名
臨時職員(土・日)	0名

## 4 活動の状況

利用者の活動は、下の4つに分類された内容である。利用者の興味、個性、保護者の願い等を把握しながら、多くの体験を重ねることをねらいとした。また、利用者の希望も聞きながら創作活動を選択するようにした。

日常生活に関する内容、健康に関する内容、勤労に関する内容は、原則全利用者の参加で実施した。

また、音楽活動は全員参加で実施した。クラブ活動は、自主活動を中心にして、さをり、散歩、音楽、生花などの活動を行った。育成会祭り・展示会での発表を目標に活動した。

各種行事は、生活に変化を与え、体験の幅を広げるため計画的に実施した。

また、例年のように、入浴のない火曜日と木曜日に、横川近辺において外出支援(日用品の買物、散歩、飲食等)を行った。全員が参加できるように、活動の一環として行った。

## (1) 創作活動に関する内容

活動内容	実施日	指導者
手工芸教室	木曜日午前	松本(外部講師)
企 画	木曜日午前	施設職員
絵画教室	木曜日午前	福田(外部講師)
陶芸教室	第二土曜日午前	國川(外部講師)
さをり織りクラブ	土曜日午後	鼻野(外部講師)

## (2) 健康に関する内容

活動内容	実施日	備 考
療法的音楽	火曜日午前	須崎(外部講師)
ヘルスタイム	月～金曜日午前・午後	散歩、レクリエーション、フィットネス等

## (3) 勤労に関する内容

活動内容	実施日	備 考
館内清掃	月曜日午後・金曜日午後	1階から4階まで
園 芸		中 庭
リサイクル	午前	空き缶つぶし作業

## (4) 日常生活に関する内容

活動内容	実施日	備 考
外出支援	火曜日・木曜日午後	横川近辺で日用品等の購入、買物、飲食など

## (5) 行 事

月	施設内行事	施設外行事	スポーツ大会等への参加
4	歓送迎会(職員・利用者合同)	花見 (中央公園) 誕生会、館外活動	
5		誕生会、館外活動	市陸上競技大会 市ボウリング大会
6		誕生会、館外活動	
7	七夕	誕生会、館外活動	
8	いくせい夏祭り 大掃除	誕生会、館外活動	
9	育成会まつり	誕生会、館外活動	
10		誕生会、館外活動	市フライングディスク大会
11		誕生会、館外活動 日帰りバスハイク(アクアス)	
12	クリスマス会 忘年会	誕生会、館外活動 ドミネーション	
1	開所記念行事	誕生会、館外活動	
2	節分会	誕生会、館外活動	市卓球大会
3	ひなまつり	誕生会、館外活動	

## 5 日 課

「いくせい」では次のような日課で生活した。

時 刻	月 曜 日 ～ 金 曜 日	時 刻	土 ・ 日 曜 日 ・ 祝 祭 日
	生 活 内 容		生 活 内 容
7:00	起床・更衣・洗面・身辺整理	7:00	起床・洗面・身辺整理
8:00	食事・歯磨・清掃	8:00	朝食・歯磨・清掃
9:30	朝の会・活動準備		自由
10:00	午前の活動開始		
11:30	午前の活動終了 昼食準備		
11:55	昼食・歯磨・休憩・午後の活動準備	12:00	昼食・歯磨 自由
13:30	午後の活動開始		おやつ
14:30	午後の活動終了		
15:30	おやつ	15:00	
16:00	入浴(月・水・金) 自主活動・身辺整理	16:00	入浴(日) 自主活動・身辺整理
18:00	夕食・歯磨 自主活動(日記の記入を含む)	18:00	夕食・歯磨 自主活動(日記の記入を含む)
21:30	就寝準備	21:30	就寝準備
22:00	消灯・就寝	22:00	消灯・就寝

## 6 利用者活動計画・支援計画

### (1) 利用者・保護者からの意向調査

利用者・保護者から、個別に「いくせい」における活動計画・支援計画についての意向を聞き取り、この意向に基づいて、活動・支援計画を作成している。

### (2) 活動計画・支援計画の作成及び見直し

意向を基本に置いて、活動計画・支援計画を作成している。

6月 年度の活動計画・支援計画作成、提示

2月～3月 活動のまとめ(次年度分)

年度末には、年度の総括を行った。

## 7 健康・安全管理

### (1) 健康・衛生管理

年間2回の健康診断、月2回の健康相談(嘱託医)と、日常の看護師・生活支援員等による健康観察により、利用者の健康管理を行っている。特に、疾病等の予防に重点を置いている。精神科・内科の診療については、利用者のかかりつけの医師への受診を計画的に実施している。

看護師、栄養士、担当生活支援員、給食委託業者による保健・給食委員会を2カ月に1回開催し、嘱託医など専門家の助言を受け、利用者・職員の健康の維持増進に努めている。

飲料水・入浴関係の設備は、清掃・点検・検査等を法定通り実施している。貯水槽の清掃・点検・検査等も実施している。また、厨房の清掃・害虫駆除等も定期的を実施している。居住区域の清掃に心がけ、定期的に害虫の駆除等を行い、衛生管理に努めている。

### (2) 安全管理

火災・地震を想定した、昼間・夜間の避難訓練を実施すると共に、全館の総合避難訓練・消火訓練を実施し、災害時への備えを行っている。総合訓練時には、西消防署の指導を受け、毎回訓練の質の向上に努めている。

施設内の安全を確保するため、日常的に安全点検を行い、施設の整備を行っている。また、環境整備については、必要に応じそのつど行っている。

館内の防災関係、エレベーターなどの法定点検を必ず行い、安全の確保に努めている。

### (3) 保健衛生・安全に関する事業等

- 利用者定期健康診断(年2回)
- 職員健康診断(年2回)
- 歯磨支援(毎食後)
- 居室等の大掃除、害虫駆除
- 各種法定点検(飲料水関係、浴槽水関係、消防設備、エレベーター点検)
- 各種点検(電気関係、貯湯槽清掃・点検、清拭)
- 夜間想定避難訓練・総合避難訓練・消火訓練
- 嘱託医による健康相談(毎月2回)
- 体温調査(毎日)
- 口腔衛生指導(年間1回)
- 給食調理場の清掃・害虫駆除

## 8 諸会議

「いくせい」では、次のような会議を開催し、利用者の自立へ向けた諸活動と支援を効果的に行えるよう努めている。

- 職員会(毎月1回)
- ケース会議(毎月1回)
- 各種委員会(活動支援、保健給食、安全管理、生活支援、倫理綱領)
- 主任会(原則として毎週1回)
- 各担当者会



## 9 短期入所事業(ショートステイ)

家庭の状況により、在宅障害者(児)を一時的に受け入れ、利用者の保護、援助に努めている。

平成24年度は、下の表のような利用があり、在宅障害者(児)の福祉の向上に貢献できたと考えている。

利用者総数が、1547名(延べ人数)となり、1日平均4.23人の利用となっている、93.6パーセントが泊を伴うものとなっている。施設が地理的条件に恵まれ、今後の利用者数の増加も予想される。

平成24年度の月別事業実施状況は下のようになっている。

平成24年度 短期入所事業実施状況 (単位:人)

月	延べ利用者数		月	延べ利用者数		月	延べ利用者数	
	泊を伴うもの	日帰り利用		泊を伴うもの	日帰り利用		泊を伴うもの	日帰り利用
4	83	19	8	86	19	12	91	23
5	119	25	9	137	18	1	73	7
6	109	26	10	144	21	2	106	14
7	97	22	11	118	27	3	144	19
小計	408	92	小計	485	85	小計	414	63
計	泊を伴うもの	1307	日帰り利用	240	総計	1547		

## 10 苦情の情報、事故の情報、ヒヤリハットの情報

### 11 その他

#### (1) 広報活動

平成12年11月より広報紙「いくせい」を発行している。平成13年度より、A4判カラー化して発行を続けている。平成25年4月発行で、100号になる。保護者、法人内の他施設へ配布している。

#### (2) 保護者会(会長は市場 義雄)

保護者会は毎月例会を開き、「いくせい」と保護者、保護者同士の理解を深める活動と「いくせい」の支援活動を行っている。

### 12 ○地域療育等支援事業(平成18年10月より、相談支援事業・療育当支援施設事業)

平成14年10月1日より、広島市から委託を受けて、下記のとおり地域療育等支援事業を実施している。

#### (1) 在宅支援訪問療育等指導事業

この事業では、巡回相談と訪問による健康診査との二つの支援を行っている。

#### (2) 在宅支援外来療育等指導事業

「いくせい」における外来による支援を行っている。

#### (3) 施設一般指導

障害児通園施設事業、障害児保育を行う保育所、養護学校、障害児学級等の職員に対して、在宅障害(者)の療育に関する技術指導についての指導を行っている。

#### (4) 地域生活支援事業

コーディネーターにより、訪問等により、在宅療育に関する相談に応ずると共に、各種福祉サービスの利用に係る援助、調整等を行っている。また、在宅障害(者)の地域生活に対する日常的なボランティア活動を行なう者の育成及び地域住民に対し障害児(者)に関する啓発活動を行っている。

現在の登録者数は162名である。この人たちへの支援の状況は、訪問172件、外来は205件、電話によるものは、83件で、合計460件の支援を行っている。

平成24年度は、460件の支援事業を実施している。開始以来、在宅障害(者)の支援事業を着実に展開してこれたのも、育成会各支部のご協力があったお陰である。今後の一層の協力をお願いいたします。

#### ○特定・障害児相談支援事業(平成24年4月より)

##### (1) サービス利用支援・障害児支援利用援助

障害者等の心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、利用するサービス等の内容等を定めたサービス等利用計画案又は障害児支援利用計画案(以下「サービス等利用計画案」といいます。)を作成し、支給決定等が行われた後に、当該支給決定等の内容を反映したサービス等利用計画又は障害児支援利用計画(以下「サービス等利用計画等」といいます。)の作成等を行います。

平成24年度では、77件のサービス等利用計画を作成した。

##### (2) 継続サービス利用支援・継続障害児利用援助

サービス等利用計画等が適切であるかどうかを一定期間ごとに検証し、その結果等を勘案してサービス等利用計画等の見直しを行い、サービス利用計画等の変更等を行います。

対象福祉圏域は広島市です。

#### ○一般指定相談支援事業(平成25年4月より)

##### (1) 地域移行支援

施設や病院に長期入所等していた者が地域での生活に移行するために住居の確保や新生活の準備等について支援を行います。

##### (2) 地域定着支援

居宅で一人暮らししている障害者に対して、夜間等も含む緊急時における連絡、相談等を行ないます。

対象福祉圏域は広島市です。

# 平成24年度広島作業所事業報告

## I 広島作業所B

### 1 通所者状況

(1) 障害・年齢状況      平均年齢 45歳      (平成25年3月31日現在)

性別	現員	療育手帳					年齢階層別人数					
		㊟	A	㊷	B	精神	～19	20～	30～	40～	50～	60～
男	38	0	12	19	6	1	1	5	4	17	7	4
女	9	0	4	5	0	0	0	0	1	4	3	1
計	47	0	16	24	6	1	1	5	5	21	10	5

(2) 在勤年数状況      (平成25年3月31日現在)

性別	現数	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25年以上
男	38	4	9	5	4	5	6	5
女	9	0	1	0	0	0	2	6
計	47	4	10	5	4	5	8	11

(3) 福祉事務所別状況      (平成25年3月31日現在)

性別	現数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市	府中	東広島	安芸高
男	38	4	1	11	4	1	2	1	7	3	1	0	1
女	9	0	3	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
計	47	4	4	13	5	1	2	1	7	4	1	0	1

(4) 障害程度区分

非該当      0人  
 区分1      0人  
 区分2      16人 (男12 女4)  
 区分3      20人 (男16 女4)  
 区分4      2人 (男2)  
 区分5      0人  
 区分6      0人  
 未判定      9人

## 2 就労支援の状況

### (1) 部署別利用者数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

部署	第 1 作業部	第 2 作業部	第 3 作業部	計
職員数	2	3	2	7
利用者(男)	13	13	12	38
利用者(女)	2	3	4	9
計	15	16	16	47

### (2) 通所状況

月 出席	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要出席日数 A	20	21	21	21	19	20	21	21	19	18	19	20
在籍数 B	47	46	46	47	46	47	47	48	48	48	48	47
A × B = C	940	966	966	987	874	940	987	1008	912	864	912	940
1 部出席数	296	288	292	289	254	253	285	277	259	231	268	266
2 部出席数	284	295	292	301	286	289	295	291	278	241	250	276
3 部出席数	264	258	263	270	237	241	274	281	247	236	223	233
実出席数計 B	844	841	847	860	777	783	854	849	784	708	741	775
出席率 B/C	90%	87%	88%	87%	89%	83%	87%	84%	86%	82%	81%	82%
H24 出席率	86%											
H23 出席率	89%											

### (3) 作業内容

第 1 作業部	金具組立(徳松工業(中区)) 銅線選別(太陽工業(中区)) プッシングチューブ加工(中国電機製造(南区))
第 2 作業部	建築金具組立(広常産業(西区)) フレコンパック(三浦商会(南区))
第 3 作業部	箱折作業(弁当箱 菓子箱)(パワーヒロセ(南区)河内(佐伯区)) 箱詰作業(菓子等)(創愛(西区)瀬川食品(西区)) シール張(コンパックス(西区))

(4) 作業収入及び工賃

年 度		H24 (円)	H23 (円)	H22 (円)	H21 (円)
収 入		7,833,762	7,859,196	6,543,993	6,565,692
支 出	経 費 (消費税含む)	581,682	1,132,550	1,633,079	605,762
	工 賃	7,252,080	6,726,646	4,910,914	5,959,930
工賃/月・人		12,858	11,990	8,136	11,036

(5) 就労の状況

- ア B型から一般就労2名
- イ B型からA型へ移行1名

(6) 入退所の状況

- ア 入所5名 (広島障害者雇用支援センターより3, その他2)
- イ 退所5名 (一般就労2 A型へ移行1 転居1 その他1)

### 3 本人中心の行事等

(1) 話し合いの場への参加と活動

- ア 作業所運営委員会への出席 (利用者の意見を集約して代表が意見を述べる。)
- イ 活動委員会 (毎月第2木曜日)
  - ・行事の企画運営 (グルメ大会、スポーツ大会、研修旅行、ボウリング大会等)
- ウ 生活委員会 (毎月第2火曜日)
  - ・生活目標設定、掃除当番、園芸活動、体操当番など
- エ さをり教室への参加

(2) 実施した行事・活動

月	行 事 等	備 考
4月	さをり教室 (2回)	利用者健康診断 (八幡、A型含む) (広島県環境保健協会)
5月	バスハイキング (A, B) (伯方の塩工場見学) さをり教室 (2回)	
6月	グルメ大会 外回り清掃 さをり教室 (2回)	作業所運営委員会 (利用者代表)
7月	球技大会 避難訓練 さをり教室 (2回)	
8月	盆前大掃除 さをり教室 (2回)	
9月	サッカー観戦 さをり教室 (2回)	育成会祭
10月	避難訓練	

11月	研修旅行（神戸方面）外回り清掃 花植え さおり教室（2回）	広島県知的障害者福祉大会 利用者健康診断（八幡、A型含む） （協力医）
12月	親睦行事 大掃除 さおり教室（2回）	
1月	避難訓練 さおり教室（2回）	新年互礼会
2月	ボウリング大会 さおり教室（2回）	運営委員会（利用者代表）
3月	野球観戦 還暦を祝う会 さをり教室（2回） 送別式	

(3) 所外活動

ア ショートステイの利用

イ スポーツ大会参加（卓球 陸上 ボウリング フライングディスク 水泳）

ウ 各種行事への参加

#### 4 地域とのつながり

(1) 学校等

広島県立廿日市特別支援学校及び広島市立広島特別支援学校の生徒、保護者の実習、見学。

(2) 福祉関係施設

広島障害者雇用支援センター 広島市障害者就業・生活センター ハローワーク  
佐伯区社会福祉協議会

(3) 施設・団体

広島市農林水産振興センター 商工センター企業連携協議会

(4) 啓発

西区社会福祉協議会行事等への参加（パネル展示等）

(5) 商工センターに立地する企業からの作業受託（3社）

(6) 広報活動

作業所たより（行事予定表）、 広報紙「翔」（季刊）、広島作業所要覧 広島作業所パンフレットの作成と活用

#### 5 家族会、後援会との連携

(1) 家族会・後援会総会（5月）

(2) 毎月20日家族会

(3) 部署別懇談会（1月）

(4) 研修・懇親（グルメ大会、研修旅行、忘年会等を利用者保護者合同で開催）

(5) 毎月「作業所たより（行事予定表）」「給食献立表」配布

(6) 広報紙「翔」発行（5月、8月 11月、1月）

## 6 職員の研修

### (1) 各種研究会や公的機関の開催する研修会への参加

#### ア 研究大会参加

- 第 61 回全日本手をつなぐ育成会全国大会高知大会：2 名
- 第 50 回全国知的障害福祉関係職員研究大会熊本大会：1 名
- 第 54 回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会岡山大会：1 名
- 第 38 回広島県知的障害者福祉大会（東広島市）：14 名

#### イ 人権研修、防災研修、相談対応研修、中堅職員研修、新任職員研修等

- 経営感覚獲得研修（5 日間）：1 名
- 広島県社会福祉協議会人材研修課の計画する研修：9 名延べ 15 日間

### (2) 所内研修

研修報告会、事例研究（ケース会議）、人権研修、その他

## 7 職員会議等

### (1) 企画委員会（毎月第 4 火曜日）

### (2) 職員会議（八幡事業所との合同開催）（毎月第 4 水曜日）

### (3) ケース会議（原則毎週水曜日）

## 8 広島作業所運営委員会

第 1 回 6 月 22 日

第 2 回 2 月 22 日

## 9 各分掌業務

### (1) 総務

- ① 医療機関との連携（協力医）
- ② 防災訓練（火災、地震、津波等防災避難訓練） 井口消防所職員による指導
- ③ 害虫駆除（広島県薬業）
- ④ 給食関係事務（嗜好調査、業者との連絡等）
- ⑤ 安全点検（毎月）：チェックリスト表による点検と対応
- ⑥ 工賃計算 交通費助成の申請・請求
- ⑦ 事故報告
- ⑧ 苦情解決
- ⑨ 訓練等給付費請求事務

### (2) 事務

- ① 文書処理
- ② 予算決算会計処理
- ③ 工賃支払

④ 家族会、後援会会計

(3) 生活委員会

- ① 個別支援計画の見直し 利用者の目標・願い等の実態把握
- ② 生活目標の設定と反省
- ③ 会議開催（定期 臨時）
- ④ 日々の生活における環境チェック 毎週1回外周清掃 バラの手入れ・草抜き
- ⑤ 健康管理 健康診断実施計画 伝染性疾病の予防 うがい手洗い励行

(4) 活動委員会

- ① 利用者の希望を取り入れた行事の立案
- ② 本人中心の行事（保護者共催）の推進  
（研修旅行 忘年会 ボウリング大会 バスハイキング等）

(5) 作業部（1部 2部 3部）

- ① 毎月の安全目標の設定 作業室の整理整頓をしてけがない部署運営
- ② 清潔な環境の維持整備
- ③ 利用者の健康、生活管理（健康観察、服装 作業着 エプロン 帽子等）
- ④ 作業の開拓
- ⑤ さをり織の継続（希望者） 隔週木曜日午前 講師吉富誠子先生

1 O 課題

- (1) 利用者の高齢化、体力低下への対応
- (2) 家族の高齢化
- (3) 受注作業の維持・拡大
- (4) 工賃向上
- (5) 施設改修

## II 広島作業所 A

### 1 利用者の状況

(1) 障害・年齢状況 平均年齢 36歳 (平成25年3月31日現在)

性別	現員	療育手帳				年齢階層別人数					
		㊟	A	㊦	B	～19	20～	30～	40～	50～	60～
男	19	0	6	7	6	0	4	13	2	1	0
女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
計	20	0	6	7	7	0	4	13	2	1	0

## (2) 在勤年数状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

性別	現数	1 年未満	1 年以上 2 年未満	2 年以上 3 年未満	3 年以上 4 年未満	4 年以上 5 年未満	5 年以上 6 年未満	6 年以上
男	19	2	4	13	—	—	—	—
女	1	0	0	1	—	—	—	—
計	20	2	4	14	—	—	—	—

## (3) 居住地別状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

性別	現数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市	府中	東広島	安芸高
男	19	1	4	5	6	0	0	0	1	0	1	0	1
女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	2	4	5	6	0	0	0	1	0	1	0	1

## (4) 障害程度区分

非該当	0人
区分1	2人
区分2	5人
区分3	2人
区分4	1人
区分5	0人
区分6	0人
未判定	10人

## 2 就労支援の状況

## (1) 支援体制、作業内容

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

A 型指導員	サービス管理責任者 (1)			職業指導員 (1)	生活支援員 (1)
作業内容	広島市清掃委託業務に従事				
業務履行場所 (担当課)	平和大通り (中区役所)	高天原墓園 (東区役所)	比治山公園 (南区役所)	広島市総合リハビリテーシ ョンセンター敷地 (広島市病院事業管理者)	
利用者数	10		9	1	
現場指導員	2		2	1	



(2) 勤務時間・報酬

ア 勤務時間 1日4時間

【午前の勤務】 8:30~12:30

【午後の勤務】 13:00~17:00 のいずれかに従事。

イ 報酬 最低賃金を保障する。

時給 710円(4~9月) 719円(10~3月)

( $710 \times 4 \times 20 = 56,800$   $719 \times 4 \times 20 = 57,520$ )

支給賃金総額(円) A	利用者数 B	労働月数 C	$A \div B \div C$ (円)
13,661,600	20人	12	56,923

(3) 通勤方法 業務履行場所へ自力で通勤する。(交通費支給)

(4) 勤務の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
出席												
要出席日数 A	20	20	21	21	20	19	22	21	19	19	19	20
在籍数 B	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
$A \times B = C$	360	400	420	420	400	380	440	420	380	380	380	400
出勤数計 B	352	378	398	395	376	360	426	413	367	361	367	383
出席率 B/C	98%	95%	95%	94%	94%	95%	97%	98%	97%	95%	97%	96%
H24 出席率	96%											
H23 出席率	99%											

(5) 就労の状況

一般就労者なし。

(6) 入退所の状況

4月1日に1名、4月中途に2名利用者が増加した。

3 業務履行状況

仕様書に基づき業務を履行し、月毎の報告を行い、担当課の確認を受けた。

4 健康診断

広島作業所に集合し、2回行った。バスによる送迎を行った。

## 5 課題

- (1) 業務履行場所が作業所から離れている。スタッフ間の連携をより緊密に行うこと。
- (2) 個別の支援計画に基づき利用者の支援をより効果的に行うこと。
- (3) 職業指導員、生活支援員、現場補助員への指導・支援と研修機会の提供。
- (4) 就労への動機付け、機会の提供。

## Ⅲ 八幡事業所B

### 1 主体性・協調性を高める支援

- (1) 利用者が主体性を感じながら作業及び余暇活動を行うよう支援を行う。
- (2) 利用者の力が最も活かされる作業を選ぶ事と同時に、利用者の意向をくんで、自身で主体的に選ぶ工程を支援する。
- (3) 作業において利用者の得手、不得手を他の利用者と共働することでお互いに補い合い作業効率を上げるとともに、利用者同士の結束や協調性を高めるよう支援を行う。

### 2 作業

- (1) ゴム（自動車部品）の加工（バリとり、中抜き）
- (2) 缶つぶし

### 3 作業収入

年 度		H 2 4	H 2 3
収 入		407,323 円	412,715 円
支 出	経 費 (消費税含む)	27,523 円	27,423 円
	工 賃	379,800 円	385,292 円
工賃／月・人		3,478 円	3,380 円

### 4 地域交流（行事への参加）

- (1) ナイスハート運動会参加（5月）
- (2) 八幡学区地域盆踊り大会出店（8月）
- (3) 育成会祭り（展示にて参加）（9月）
- (4) 佐伯区民祭出店（11月）
- (5) 廿日市特別支援学校「はつよう祭り」出店（11月）

## 5 運営委員会

- (1) 開催日 8月、3月の2回開催
- (2) 内容 諸課題について協議

## 6 家族会

- (1) 開催日 毎月最終火曜日
- (2) 内容 行事確認、利用者状況報告、懇談（課題協議）

## 7 通所者状況

（平成25年 3月 31日現在）

### 【療育手帳】

性別	㊤	A	㊦	B
男（4名）	0	4	0	0
女（6名）	1	2	3	0

### 【年齢層】

年齢	10代	20代	30代	40代	50代
人数	0名	6名	2名	1名	1名

### 【住居】

地域	佐伯区	西区
人数	7	3

### 【通所年数】

年数	1	2	3	6	7	11	12
人数	2	1	3	1	1	1	1

## 8 通所状況

出席 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要出席日数	20	21	21	21	18	19	22	22	18	18	19	20
在籍人数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10
総出席数A	180	189	189	189	162	171	198	198	162	162	171	188
実出席数B	139	142	131	133	114	126	157	139	125	120	131	141
出席率B/A	77%	75%	69%	70%	70%	74%	79%	70%	77%	74%	77%	75%

## 9 課題

- (1) 工賃の維持向上
- (2) 作業所が土砂災害特別警戒区域にあるため、安全確保を考えて別の地域に移転する必要がある。
- (3) 保護者が高齢な世帯が数世帯あり、利用者の支援について考える必要がある。

## 1 事業の名称

育成会 上安作業所（就労継続支援 B 型事業）  
及び喫茶いくせい（上安バスターミナル店、広島ビッグウェーブ店）運營業務  
広島市総合リハビリテーションセンター食堂・売店の運營業務

## 2 事業の目的

一般企業等で就労することが困難な障害者が、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動又は商業活動の機会の提供を行う。

## 3 事業の内容

定員20名。平成25年3月末時点での登録者は21名。

利用者内訳は、上安作業所9名 上安店3名 牛田店6名 リハビリセンター3名

### ①育成会 上安作業所（月～金 10：15～16：00）

- ・街区公園等清掃事業 上安第3公園清掃及び花壇管理業務
- ・その他下請け作業 広島市就労支援センター等より受注
- ・文化的活動 刺し子等
- ・生活活動 体力づくり等

### ②喫茶いくせい 上安バスターミナル店（月～金 10：00～17：00）

- ・喫茶室運営 上安バスターミナル1F「喫茶いくせい」での接客等
- ・売店運営 喫茶いくせい売店にて各作業所の就労支援商品等の接客・販売
- ・地域交流活動 喫茶いくせいを利用しての作品展等
- ・障害者職業能力開発促進事業 接客マナー講座の受講（年3回）

### ③喫茶いくせい 広島ビッグウェーブ店（火曜日定休 10：00～17：00）

- ・喫茶室運営 広島市東区スポーツセンター2F「喫茶いくせい」での接客等  
スケートリンクうどんコーナーの開設（11月～4月）
- ・売店運営 広島市東区スポーツセンター1Fにて食品・スポーツ用品等の接客・販売
- ・職場実習の受け入れ 発達支援センター等からの職場実習
- ・障害者職業能力開発促進事業 接客マナー講座の受講（年3回）

### ④広島市総合リハビリテーションセンター食堂・売店

- ・食堂運営 月～金 11：00～14：00  
食堂での接客、配膳等
- ・売店運営 年末年始休業 9：00～18：00  
売店での接客・販売
- ・障害者職業能力開発促進事業 接客マナー講座の受講（年3回）

○各事業収入内訳は以下のとおり

上安作業所	487,360
喫茶いくせい上安店	4,009,091
喫茶いくせい牛田店	15,615,521
リハビリテーションセンター食堂・売店	17,512,546
合計	37,624,518

○上記内容から全体平均で利用者1人当たり月額15,783円の工賃を支給

各事業平均は以下のとおり

上安作業所	9,130円／一人当たり月額
喫茶いくせい 上安店	19,635円／一人当たり月額
喫茶いくせい 牛田店	20,215円／一人当たり月額
リハビリセンター	24,725円／一人当たり月額

#### 4 職員研修

各種研修会への参加

#### 5 平成24年度の目標

作業能力の向上や接客マナーの向上等、個人のスキルアップを図り、作業量や接客態度において向上が見られた。さらに一般就労1名、広島市公益法人に1名、就労継続支援A型へ1名等、就労へ導いた。

(就労継続支援 B 型)

1 はじめに

平成 24 年度の事業計画の則り、事業を実施しました。

2 利用者の状況

(1) 利用者契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	36	36	34	32	32	34	33	33	32	32	34	34
女	16	17	18	18	18	18	18	19	19	19	20	19
計	52	53	52	50	50	52	51	52	51	51	54	53

(2) 年齢構成 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	3	11	6	6	4	2	1	1	34
女	3	8	2	1	4	1	0	0	19
計	6	19	8	7	8	3	1	1	53

平均年齢 男：31.6 歳 女：31.2 歳 利用者全体：31.4 歳

(3) 障害の状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㉠	A	㉡	B	計	1級	2級	3級	4級	6級	計
男	0	4	13	17	34	0	0	1	0	1	2
女	0	4	6	9	19	3	0	0	0	0	3
計	0	8	19	26	53	3	0	1		1	5

(4) 住所地状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男	3	4	10	5	0	5	3	1	3	34
女	1	5	3	3	1	0	2	1	3	19
計	4	9	13	8	1	5	5	2	6	53

(5) 利用者障害程度区分 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	受けて いない	計
男	1	7	5	1	1	0	19	34
女	2	3	5	1	0	0	8	19

計	3	10	10	2	1	0	27	53
---	---	----	----	---	---	---	----	----

(6)利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
工賃支払い対象者数	51	54	52	50	50	52	51	52	51	51	54	53
利用可能日数	20	21	21	22	21	19	22	21	19	19	19	20
利用可能総日数	1020	1134	1084	1100	1050	988	1122	1092	969	969	1026	1060
延べ出席実日数	789	850	870	861	789	787	897	813	727	710	734	844
出席率 (%)	77.4	75.0	80.3	78.3	75.1	79.7	79.9	74.5	75.0	73.3	71.5	79.6

3 作業収益 (平成24年4月～平成25年2月)

作業収入		6,494,623
経費	材料費	280,349
	消費税	324,437
	諸経費	2,156,332
工賃計		3,516,136
1人あたりの工賃 (月平均)		6,190

主な作業種目の内容

- |             |             |            |       |
|-------------|-------------|------------|-------|
| ・ 建築金具の組立   | 徳松工業株式会社    | ・ 贈答用食品袋詰め | 創愛    |
| ・ タオルクリーニング | スタイルグループ他   | ・ 清掃作業     | 広島市役所 |
| ・ 縫製        | 藤愛会         | ・ 段ボール組立   | 平原建設  |
| ・ ブラインド作業   | 蔵田ファイリング    | ・ 安全ピン袋入れ  | 明光堂   |
| ・ 折鶴解体      | 千羽鶴未来プロジェクト | ・ ホタテ貝穴あけ  | 丸榮    |

4 職員体制

管理者兼サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員5名、  
目標工賃達成指導員1名

5 行事

月	行 事
4月	スポーツ大会
5月	
6月	
7月	工場見学
8月	
9月	
10月	秋の遠足
11月	

12月	クリスマス忘年会
1月	
2月	
3月	春の遠足

6 日課 よこがわ作業所では次のような日課で生活しました。

時 間	内 容
8:45	出勤 朝礼 体操
9:00	作業
10:30	休憩
10:40	作業
12:00	昼食 休憩
13:00	作業
14:30	休憩
14:40	作業
15:45	片付け 清掃 終礼
16:00	退勤

7 課題

- ・ 登録利用者数を増やすとともに、出席率を上げていくため、作業内容の見直し、環境整備等を検討していく必要がある。
- ・ 企業下請け（内職）作業の見直し・開拓をするとともに、下請け中心から自主製品の開発や新しい作業の起業など工賃の向上に向けた取り組みを行っていく必要がある。



(生活介護事業)

1 はじめに

平成 24 年度の事業計画の則り、事業を実施しました。

2 利用者の状況

(1)利用者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	13	13	13	12	12	13	13	13	13	13	13	13
女	11	11	10	11	11	11	11	11	10	10	10	10
計	24	24	23	23	23	24	24	24	23	23	23	23

(2)年齢構成 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	1	10	1	1					13
女	3	7							10
計	4	17	1	1					23

平均年齢 男：25.8 歳 女：20.7 歳 利用者全体：23.6 歳

(3)障害の状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㉠	A	㉡	B	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男	3	9		1	13		2				2
女	2	8			10		2				2
計	5	17		1	23		4				4

(4)住所地状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男	3		3	2	1	3		1		12
女	2	3	2	2			1			11
計	5	3	5	4	1	3	1	1		23

(5)利用者障害程度区分 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男			1	3	5	4	13
女			2	3	4	1	10
計			3	6	9	5	23

#### (6) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	24	24	23	23	23	24	24	24	23	23	23	23
利用可能日数	20	21	21	21	21	19	22	21	19	19	19	20
利用可能総日数	480	504	483	483	483	456	528	504	437	437	437	460
延べ出席実日数	337	353	340	329	337	317	369	349	327	292	316	321
出席率 (%)	70.2	70.0	70.4	68.0	69.8	70.0	69.9	69.0	74.8	66.8	72.3	73.5

#### (7) 通所方法

通所方法	人数
送迎利用	11
自力通所	12
計	23

### 3 職員体制

管理者兼サービス管理責任者 1 名、生活支援員 4 名、看護師 1 名

### 4 行事

月	行 事
4月	入所式
5月	バスハイク
6月	
7月	バスハイク
8月	
9月	育成会祭り
10月	バスハイク
11月	家族合同行事（錦帯橋）
12月	クリスマス食事会
1月	書初め
2月	
3月	バスハイク

### 6 課題

- ・ 登録利用者を増やすとともに、出席率をあげていくため、活動メニューの中身の検討や新しい活動メニューを増やしていくなどの工夫をしていく必要がある。

## 平成24年度 事業報告

### 短期入所事業よこがわ

1 短期入所事業よこがわの事業について、次のとおり報告致します。

#### 2 利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	9	13	11	15	11	13	18	19	16	12	15	16
延利用数	65	75	83	95	85	99	109	84	81	92	93	108

#### 3 課題

- ・ 土日も泊まってもらえるよう、環境の整備をしていく必要がある。
- ・ 重度の人も泊まれるような体制を作っていく必要がある。

平成24年度 事業報告

グループホーム・ケアホーム

(よこがわ)

1 グループホーム・ケアホームよこがわの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10
女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	20

(2) 利用者障害程度区分（平成25年3月31日現在）

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男		4	3	1	2		10
女	2	3	2	3			10
計	2	7	5	4	2		20

(3) 利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	20
延利用数	387	385	428	428	382	382	449	415	367	345	348	372
1人あたりの平均利用日数	19.4	19.3	21.4	21.4	19.1	19.1	22.5	20.6	18.4	18.2	18.3	18.6
利用率(%)	64.5	62	71	69	61.6	63.7	72.4	69.1	59.2	55.6	62.1	60

(4) 年齢構成（平成25年3月31日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男		3	1	3	2	1			10
女		1	2	2	2	2	1		10
計		4	3	5	4	3	1		20

平均年齢 男： 33.8歳 女： 38.7歳 利用者全体 36.3歳

(5) 障害の状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男		5		5	10						
女		4		5	9						
計		9		10	19						

(6) 住所地状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男			3			3		3	1	10
女		1	2	2	1	2		2		10
計		1	5	2	1	5		5	1	20

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	
6 月	お誕生日会
7 月	保護者合同食事会
8 月	
9 月	お誕生日会、消防訓練
10 月	
11 月	
12 月	お誕生日会&クリスマス会
1 月	
2 月	お誕生日会
3 月	消防訓練

※2 ヲ月に 1 回 家族会

(つるみ)

1 グループホーム・ケアホームつるみの事業について、次のとおり報告致します。

利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	9	9	9	9	9	10	10	11	13	13	13	14
女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	14	14	14	14	14	15	15	16	18	18	18	19

利用者障害程度区分（平成25年3月31日現在）

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	1	6	6		1		14
女	1	3	1				5
計	2	9	7		1		19

利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍	14	14	14	14	14	15	15	16	18	18	18	19
延利用数	374	382	402	406	390	364	403	429	496	480	458	517
1人あたりの平均利用数	26.7	27.2	28.7	29	27.8	24.3	26.9	26.8	27.5	26.7	25.4	27.2
利用率(%)	62.3	61.6	67	65.4	62	60.6	65	71.5	80	77.4	81.7	86.1

年齢構成（平成25年3月31日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男		2		1	2	1	6	2	14
女		2	1			1	1		5
計		4	1	1	2	2	7	2	19

平均年齢 男： 50歳 女： 34歳 利用者全体 44歳

障害の状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳						身体障害者手帳					
	不明	㊶	A	㊷	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	2		4	3	5	14						
女				5		5						
計	2		4	8	5	19						

住所地状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男		8	2			2			2	14
女		3	1						1	5
計		11	3			2			3	19

行事

月	行 事
4 月	お花見
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	バーベキュー大会、平和大通り清掃、竹屋小祭り
9 月	花火大会、消防訓練
10 月	
11 月	ランチバイキング食事会
12 月	クリスマス会、忘年会
1 月	
2 月	
3 月	消防訓練

※2 か月 1 回 家族会

(しんぐうえん)

1 グループホーム・ケアホームしんぐうえんの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4

(2) 利用者障害程度区分（平成25年3月31日現在）

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男					1		1
女				1	2		3
計				1	3		4

(3) 利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4
延利用数	109	109	126	124	101	116	113	117	110	82	63	91
1人あたりの平均利用日数	21.8	21.8	25.2	24.8	20.2	23.2	22.6	23.4	22	16.4	15.8	22.8
利用率(%)	72.7	70.3	84	80	65	77.3	72.9	78	70.9	52.9	45	60.6

(4) 年齢構成（平成25年3月31日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男							1		1
女				1		1	1		3
計				1		1	2		4

平均年齢 男： 歳 女： 歳 利用者全体 歳



(5) 障害の状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男		1			1						
女		3			3						
計		4			4						

(6) 住所地状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男								1		1
女								3		3
計								4		4

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	
9 月	避難訓練
10 月	
11 月	
12 月	
1 月	
2 月	
3 月	避難訓練

毎月-----家族会、体重測定

◇ グループホーム・ケアホームの課題

- ・現在、多くの入居者が土日に自宅へ帰っているので、グループホーム・ケアホームへたくさん泊まってもらえるようお願いしていく必要がある。

# 平成24年度 事業報告

広島市西部障害者デイサービスセンター

## 1 管理業務の実施状況

### (1) 市民の平等利用の確保策の実施状況

- ・ デイサービスセンター条例第4条に基づき、適正利用に努めている。

### (2) 事業の実施状況

- ・ 開館日数 293日
- ・ 開所日数 244日

### (3) 施設管理の実施状況

- ・ 毎月はじめに各室安全点検実施。
- ・ 送迎バス点検整備……随時
- ・ 避難訓練の実施……火災訓練2回／年〔7月、2月〕  
地震訓練1回〔3月〕

## 2 施設の点検・修繕等の実施状況

- ・ エレベーター点検……定期点検…毎月2回実施
- ・ 館内消毒……2回／年〔8月〕
- ・ 自家用電気工作物点検……月次点検隔月一回、年次点検年
- ・ 消防設備点検……1回／年〔8月、2月〕
- ・ 空調設備点検……2回／年〔6月、11月〕
- ・ 1階重介護サービス室トイレ 改修工事

## 3 施設・物品の滅失・き損の状況

なし

## 4 施設の利用状況（年間件数）

### (1) 利用者数

別添1のとおり。

### (2) 使用許可件数

別添1のとおり。

### (3) 使用拒否等の件数・理由

別添1のとおり

### (4) 有料利用者数

別添1のとおり

### (5) 減免対象者数・理由

別添1のとおり

### (6) 利用料金収入額(利用料金制を導入する施設のみ報告)

別添1のとおり

5 利用促進の数値目標に対する実績値及び利用促進策の実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
作業室	登録者数	33	33	33	34	34	34	34	34	34	34	33	33	34
	出席可能日	20	21	21	21	22	19	22	21	19	19	19	20	21
	出席可能な延べ日数	660	693	693	714	748	646	748	714	646	627	627	627	679
	実出席延べ人数	537	523	547	556	516	517	603	575	484	456	479	539	528
	出席率(%)	81	75	79	78	69	80	81	81	75	73	76	82	78
	定員30名の出席率(%)	90	83	87	88	78	91	91	91	85	80	84	90	87
重介護	登録者数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	20
	出席可能日	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	出席可能な延べ日数	209	209	209	209	209	209	209	209	209	209	198	198	207
	実出席延べ人数	154	152	144	150	171	159	163	159	150	128	132	144	150
	出席率(%)	74	73	69	72	82	76	78	76	72	61	67	73	73
	定員20名の出席率(%)	70	69	65	68	78	72	74	72	68	58	60	65	68

6 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等）〔実施月のみ報告〕

- ・ 日々ノートにて連絡を取り合い、利用者、保護者のニーズの把握に努めている。

7 個人情報保護への対応状況

- ・ 「社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 社団法人広島県手をつなぐ育成会 個人情報保護規定」（平成17年4月1日策定）に基づき対応している。

8 情報公開の実施状況

- ・ 「社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 社団法人広島県手をつなぐ育成会 個人情報保護規定」（平成17年4月1日策定）に基づき対応している。

9 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯、衛生対策などの安全対策を含む。）

- ・ 「育成会各施設消防計画」「緊急事故対応」（平成12年1月11日策定、平成17年8月25日改定）に基づき対応している。

10 苦情・要望への対応状況

- ・ 「育成会福祉サービス向上に関する処理要綱」（平成14年4月1日策定）に基づき対応している。
- ・ ご意見箱を設置している。

11 人員体制、人員配置、指揮命令系統、責任体制、職員研修（接遇、施設設備の取扱い等）

- ・ 所 長 1名
- 事 務 2名
- 主任生活支援員 2名
- 生活支援員 20名
- 看護師 1名
- 入浴介助員 2名

- ・ 職員研修・・・館外研修、館内研修（別添2）

12 管理経費の収支状況

収 入	167,200,022 円
支 出	165,559,026 円

13 自己評価の実施状況

- ・ 四半期ごとに実施している。

14 自主事業の実施状況

- ・ 無し

別添1

施設の利用状況（平成24年度）

(1) デイサービス利用者数

\*作業室

登録者数	33 人
(うち新規登録者)	1 人
利用延べ回数	6,332 回
給食提供食数	6,058 回
入浴提供回数	77 回
送迎提供回数	11,593 回

\*重介護サービス室

登録者数	18 人
(うち新規登録者数)	0 人
利用延べ回数	1,806 回
給食提供食数	1,433 回
入浴提供回数	1,011 回
送迎提供回数	2,313 回

(2) 使用許可件数

機能 訓練室	利用件数	244 件
	利用人数 障害者	1,263 人
	介助者等	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	1,263 人

会議室 ①	利用件数	28 件
	利用人数 障害者	0 人
	介助者等	0 人
	一般	146 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	146 人

和室	利用件数	0 件
	利用人数 障害者	0 人
	介助者等	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	0 人

会議室 ②	利用件数	154 件
	利用人数 障害者	1,019 人
	介助者等	229 人
	一般	334 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	1,353 人

\* 教室事業利用者数

	障害者	介助者	ボラン ティア	計
絵画	182	20	1	203
手工芸	128	67	20	215
陶芸	237	23	23	283
生け花	105	23	0	128
機織り	151	56	19	226
書道	147	14	29	190
七宝焼き	69	26	2	97
計	1,019	229	94	1,342 (人)

\* ボランティア、実習生等受入数

ボランティア 94 人

実習生 9 人

(3) 使用拒否等の件数・理由〈年月日、相手方の住所・名前、理由〉

0 件

(4) 有料利用者数

0 人

(5) 減免対象者数・理由

1,499 人 理由:障害をもつ方の生きがい対策及び福祉の向上のため

(6) 利用料金収入額

115,165,903 円

(内訳)

介護給付費	111,683,101円
定率負担	
給食・入浴の実費	3,482,802円

介護給付費、定率負担額については、  
地域生活支援事業分も含んだ額

## 別表2

## 職員研修

## 1 館外研修

研修名	研修内容	研修場所
送迎車両安全運転講習会 (5月)	送迎に当たり特に注意すべき点や、安全運転を心がけること 大きな経費の節約につながることの実例をまじえ、わかりやすく講習する	広島ビックアーチ 駐車場
クレーム対応研修 (6月)	講義、グループディスカッションロールプレイ等により、適切な解決方法を習得し、寄せられたクレームや要望をサービスの質の向上に役立てる	広島県社会福祉会館
福祉職員生涯研修 (新任研修) (6月)(7月)	基本的な内容を学び、職場における自身の役割を理解するとともに、目標を設定し自己啓発を行う意義や方法について学ぶ	広島県社会福祉会館
接遇マナースキルアップ研修 (6月)	ためになる講義+身につく演習	RCC文化センター
安全管理者等法定講習 (6月)	道路交通第108条2第1項第1号に掲げる安全運転管理者・副安全運転管理者に対する講習	広島県運転免許センター
食中毒予防講習会 (6月)	平成23年度食中毒発生状況 食中毒を予防するためには、大規模食中毒の事例・最新の食中毒に関する情報提供	広島市保健所
指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修 (7月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法、障害者虐待防止法等について</li> <li>・障害福祉サービス事業者指導監査等について</li> <li>・障害児施設等の更新について</li> <li>・障害福祉サービス事業者等の更新について</li> <li>・凍結含浸について</li> <li>・広島市からの連絡事項</li> </ul>	広島市東区民文化センター
社会福祉法人新会計基準研修～移行と対応編～ (8月)	新会計基準の実務的な移行時の処理を中心に最新の情報を交えて学ぶ	広島県社会福祉会館
管理者リスクマネジメント研修 (9月)	リスクマネジメントの知識と理論を踏まえ、サービス提供 過程のリスクについて裁判事例を用いて損害賠償責任理論を学び経営上のコンプライアンスリスクについて考える	広島県社会福祉会館
ビジネスマナー研修会 (9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社会における接遇の心構え・接遇の重要性～ロールプレイ～</li> <li>・心のこもった対応術</li> <li>・好感もてる電話対応</li> <li>・クレーム対応の基本的な心構え</li> </ul>	広島県社会福祉会館

福祉職員生涯研修（中堅職員） （9月）	職場における自身の役割を理解するとともに、中堅職員に求められる職場での問題解決・過題発見の意義や方法について学ぶ	広島県社会福祉会館
広島県障害者相談支援従事者初任者研修 （9・10月）	「地域における障害者相談支援体制を充実させることを目的とし、相談支援に従事しようとする者」に対する研修であり主に障害者ケアマネジメントの手法を学ぶ	西区民文化センター 安芸区民文化センター
中堅職員のリスクマネジメント研修 （11月）	リスクマネジメントの知識と理論を踏まえ、サービス提供過程で起こりやすい身近な事例を取り上げ、リスクの発見や事故防止を重点的に学ぶ	広島県健康福祉センター
感染症予防研修 （11月）	保健衛生担当の職員として感染予防についての基本的知識である標準予防策や、感染経路予防策、職業感染防止などについて学ぶ	広島県社会福祉会館
第38回広島県知的障害者福祉大会「広島中央大会」 （11月）	大会スローガン 「私たちのことを私たち抜きで決めないで」 「虐待のない社会をめざそう」	東広島市中央生涯学習センター
広島県サービス管理責任者研修 （11・12月）	個々の利用者についての初期状態の把握や個別支援計画の作成、定期的な評価などの一連のサービス提供プロセス全般に関する責任を担うことによりサービスの質の向上を図ることのできる人材の養成を目的	西区民文化センター 県立総合体育館
きらっと光る人生を考える研究大会 （12月）	法律の改正にあたり、大きな問題について検討し、障害者総合支援法に対して提供する事を目的とする大会	広島市青少年センター
障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会（アドバンスコース） （1月）	施設等におけるレクリエーションプログラム全体をコーディネート、評価できる人材を養成する	戸山サンライズ
“口から食べる”を支援する食事ケア・口腔ケア研修 （1月）	口から食べることに重点を置き口腔ケアと食事ケアを関連づけて学ぶことで、「食」の自立支援を目指す	広島県健康福祉センター
指導的職員のためのコミュニケーション研修 （2月）	指導に欠かせないスキルとしてほめ方、叱り方など具体的なコミュニケーションの取り方、ティーチングとコーチングを使った指導方法などについて、OJTを想定した演習を交えて学ぶ	広島県社会福祉会館
介護技術向上研修 ～姿勢ポジションを学ぶ～ （2月）	姿勢の基本を学ぶことで生活の質を見直し、利用者の生活支援をより良いものにするための介護技術を身につける	広島県社会福祉会館

障害者福祉センター等 職員研修会 (2月)	施設長等幹部職員に対し国の障害者福祉行政等新しい情報を提供し、障害者生活支援および施設経営等の知識について研修し施設運営の充実、強化を図ることを目的	戸山サンライズ
障害者虐待防止・権利擁護研修 (2・3月)	障害者虐待の防止や障害者の養護者に対する支援等に関する基礎的な知識を習得する	東区民文化センター 広島県健康福祉センター
メンタルヘルス&腰痛対策 セミナー (2月)	ストレスと上手につきあうための基礎知識と対処法・腰痛予防のための体操やストレッチで身体を動かす	広島県社会福祉会館
福祉職員生涯研修(指導的職員) (2月)	働き方を描くキャリアデザイン、自己管理の方法、リーダーシップ、チームワーク論等を組織マネジメントの視点を踏まえて学ぶ	広島県社会福祉会館
新人介護職員合同研修会 (2月)	H24年度広島県介護人材求人等強化コーディネート事業の一環として、就職1年目の介護職員としての基本となる視点と技術を補完し、職場への定着支援を目的とする	トリニティカレッジ 広島医療福祉専門学校
スーパービジョン基礎研修 (2月)	スーパービジョンの基礎を理解し同僚間を想定したピアスーパービジョンを体験する 対人援助の専門性を高めるためにスーパービジョンを役立てる方法について学ぶ	広島県社会福祉会館
支援者の為の虐待防止・権利擁護 研修 (2月)	虐待防止法の起こり・虐待にあった人々の歴史・権利擁護の精神などを学び、日々の利用者の観察や拘束の手続き、個別支援計画への反映といった範囲までを捉えて勉強する	障害者支援施設 いくせい
防火管理講習 (3月)	消防法施行令第3条第1項に規定する防火管理に関する講習で当該講習の課題を終了することで防火管理者として選任される	広島市総合防災センター

## 2. 館内研修

### 【赤十字救急法講習会】

実施期間	平成24年7月20日(金)
講師	日本赤十字社広島県支部事業部 派遣指導員 1名
講習内容	蘇生法とAED使用方法を習得する (実技は訓練人形を使用して2人1組で行う)

### 【介護技術研修】

実施期間	平成24年11月9日(金)
講師	佐々木 昭 理学療法士(佐々木塾代表)
研修内容	【腰痛について】・腰痛の原因・防衛体力・行動体力・目標運動量 日々の生活の中で出来ること・安全管理について・事故の要因について



## 広島市東部障害者デイサービスセンター業務実施報告書（平成24年度）

### 1 管理業務の実施状況

- (1) 市民の平等利用の確保策の実施状況
  - ・ デイサービスセンター条例第4条に基づき、適正利用に努めている。
- (2) 事業の実施状況
  - ・ 開館日数 293日
  - ・ 開所日数 244日
- (3) 施設管理の実施状況
  - ・ (別紙1)

### 2 施設の点検・修繕等の実施状況

- ・ (別紙2)

### 3 施設・物品の滅失・き損の状況

- ・ 食堂洗面台上部の壁紙はがれ
- ・

### 4 施設の利用状況（年間件数）

- (1) 利用者数  
別添1のとおり。
- (2) 使用許可件数  
別添1のとおり。
- (3) 使用拒否等の件数・理由  
別添1のとおり
- (4) 有料利用者数  
別添1のとおり
- (5) 減免対象者数・理由  
別添1のとおり。
- (6) 利用料金収入額(利用料金制を導入する施設のみ報告)  
別添1のとおり。

### 5 利用促進の数値目標に対する実績値及び利用促進策の実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
作業室	登録者数	33	33	33	33	33	33	32	32	32	31	31	31	32
	出席可能日	20	21	21	21	22	19	22	21	19	19	19	20	20
	出席可能な延べ日数	660	693	693	693	726	627	704	672	608	589	589	620	656
	実出席延べ人数	550	589	570	572	529	510	597	562	518	492	507	539	545
	出席率(%)	83	85	82	83	73	81	85	84	85	84	86	87	83
	定員30名の出席率(%)	92	93	90	91	80	89	90	89	91	86	89	90	89

重介護	登録者数		20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	20
	出席可能日	A	10	10	11	11	10	9	12	11	9	10	10	9	10
		B	10	11	10	10	12	10	10	10	10	9	9	11	10
	出席可能な延べ日数		200	210	210	210	220	190	220	210	181	180	180	191	200
	実出席延べ人数		137	139	142	148	151	138	160	139	119	115	121	116	135
	出席率(%)		69	66	68	70	69	73	73	66	66	64	67	61	68
	定員20名の出席率(%)		69	66	68	70	69	73	73	66	60	61	64	58	66

6 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等）〔実施月のみ報告〕

- ・ 日々ノートにて連絡を取り合い、利用者、保護者のニーズの把握に努めている。

7 個人情報保護への対応状況

- ・ 「社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 社団法人広島県手をつなぐ育成会 個人情報保護規定」（平成17年4月1日策定）に基づき対応している。

8 情報公開の実施状況

- ・ 「社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 社団法人広島県手をつなぐ育成会 個人情報保護規定」（平成17年4月1日策定）に基づき対応している。

9 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯、衛生対策などの安全対策を含む。）

- ・ 「育成会各施設消防計画」「緊急事故対応」（平成12年1月11日策定、平成17年8月25日改定）に基づき対応している。

10 苦情・要望への対応状況

- ・ 「育成会福祉サービス向上に関する処理要綱」（平成14年4月1日策定）に基づき対応している。
- ・ ご意見箱を設置している。

11 人員体制、人員配置、指揮命令系統、責任体制、職員研修（接遇、施設設備の取扱い等）

- ・ 所長 1名
- ・ 事務（本部兼務） 1名
- ・ 主任生活支援員 2名
- ・ 生活支援員 19名
- ・ 看護師 1名
- ・ 入浴介助員 2名
- ・ 職員研修・・・館内研修、館外研修（別紙3）

12 管理経費の収支状況（別添2のとおり）

収 入	
支 出	

13 自己評価の実施状況

- ・ 四半期ごとに実施している。（※年度分については別紙参照）

14 自主事業の実施状況

- ・ 無し

(別紙1)

施設管理の実施状況

施設管理業務	実施（内容）	実施者	実施日
安全点検	(施設内点検)	職員	1回/月
清掃	(館内・ベランダ)	広島市手をつなぐ育成会	月～金(閉館日除く)
特別清掃	(ブラインド・窓ガラス・厨房排水溝等)	エクレ	1回/年
玄関等マット	(マット交換)	西日本リネンサプライ	1回/4週
バス運行管理	(利用者送迎バス5台運行)	鯉城タクシー	月～金(閉館日除く)
給食業務	(利用者への給食提供)	日米クック	月～金(閉館日除く)
一般廃棄物収集運搬	(一般廃棄物収集運搬)	センタークリーナー	月～金(閉館日除く)
警備業務	(館内巡回)	東洋警備	毎日
〃	(閉館時機械警備実施)	イズミテクノ	〃
施設設備管理業務	(施設・設備管理業務)	三栄産業	〃
ねずみ・昆虫等防除	(害虫防除)	都市環境サービス	1回/月
電気設備点検		イーテック24	1回/月
電話設備点検		扶桑電通	1回/月
エレベーター設備保守点検		日立ビルシステム	1回/月
自動ドア保守点検		広島自動ドア販売	1回/3ヶ月
自動制御装置		(株)アズビル	6回/年
空気環境測定		ニックス	1回/2ヶ月
消防用設備点検		ヤマキ産業(株)	2回/年
空調機・保守点検		高砂熱学	6回/年
熱源設備点検		三洋コマ-シャルサービス	1回/年
煤煙測定		富士企業	3回/年
雑用水検査		富士企業	1回/2ヶ月
駐車管制装置点検		日信防災	3回/年
水道水検査		富士企業	5回/年
自家発電装置点検		メタウォーター	2回/年
地下タンク漏洩検査		大和実業	1回/年
汚水・雑排水槽清掃		富士企業	2回/年
受水・高架水槽清掃		富士企業	1回/年
ガス受給設備		広島ガス	1回/年

(別紙2)

施設の点検・修繕等の実施状況

- ・4月9日 送迎バス(全車両5台)タイヤ交換((株)太陽ゴム工業所)
- ・4月10日 送迎バスバックモニター調整(タケダ電気)
- ・4月26~27日 送迎バスリアタイヤ車軸点検(第一ボデー)
- ・4月27日 送迎バスリフト修理(第一ボデー)
- ・5月25日 貯蔵湯沸器弁ゴム交換・ボールタップ調整((株)中国イトミック)
- ・5月29日 送迎バスエアコンコンプレッサーとオイルネーターのベルト交換  
(日産プリンス広島販売(株))
- ・6月8日 送迎バスリフト点検(日産プリンス広島販売(株))
- ・6月18日 食器洗浄機ウォーターバルブの交換(ホシザキ中国(株))
- ・6月16~24日 送迎バスリフト点検一式(日産プリンス広島販売(株))
- ・7月17日 公用車6カ月点検(日産プリンス広島販売(株))
- ・7月18日 入浴室エアコン空調機洗浄作業(ダイキン工業(株)広島サービスステーション)
- ・7月23日 電気スチームコンベンションオープン芯温センサー交換(ホシザキ中国(株))
- ・7月28日 身障者トイレ用サイクルファン取付工事(アール・シー・オー(株))  
利用者更衣室コンセント増設工事(アール・シー・オー(株))
- ・8月15~21日 携帯電話発着信不良とサブ画面破損の修理(auショップ海田店)
- ・9月5日 パトライトバッテリー交換((株)立芝)
- ・9月21~22日 送迎バスリフトのブラインドカーテンの巻き取り不良の為交換  
(日産プリンス広島販売(株))
- ・9月24日 印刷機丸ベルト交換・調整((株)弘法)
- ・10月5日 電気湯沸し器(食堂)減圧弁・銅管・デジタルタイマーの部品交換  
(株)中国リトミック)
- ・10月6~7日 送迎バス6カ月点検(日産プリンス広島販売(株))
- ・10月23日 送迎バスタイヤの修理((株)太陽ゴム工業所)
- ・11月8日 機能訓練室へのLANケーブル新設工事(ソルコム(株))
- ・11月22日 送迎バススモールランプとヘッドランプのバルブ交換  
(日産プリンス広島販売(株))
- ・11月30日 車椅子タイヤチューブ交換(山陽ウィール・チェアー)
- ・12月7日 送迎バス(1台)法定1年点検(日産プリンス広島販売(株))
- ・12月8日 送迎バス(1台)スタットレスタイヤへの交換(日産プリンス広島販売(株))
- ・12月10日 送迎バス(4台)スタットレスタイヤへの交換((株)太陽ゴム工業所)
- ・12月19日 昇降浴槽温度表示不良の為部品交換と修理(酒井医療(株))
- ・1月16日 衣類乾燥機部品交換と修理  
(パナソニックテクニカルサービス(株)広島サービスセンター)
- ・1月21日 給茶機フロートスイッチとウォーターバブルの交換(ホシザキ中国(株))
- ・2月6日 ピアノ調律(矢川ピアノ工房ヤガワ楽器調律センター)
- ・2月8~12日 公用車車検(日産プリンス広島販売(株))
- ・2月15日 18日 給茶機食堂床張り替えの為移動と調整(ホシザキ中国(株))
- ・2月16~17日 食堂床張り替え(錦建設(株))  
重介護室床カーペット張り替え(錦建設(株))
- ・2月18日 MR1のドアのグレンチ錠の取り替え(錦建設(株))  
食堂床ワックス掛け(錦建設(株))
- ・2月19日 昇降浴槽高圧ホース交換と動作点検(酒井医療(株))
- ・2月28日 厨房機器点検(ホシザキ中国(株))
- ・3月1~2日 送迎バス(2台)法定1年点検(日産プリンス広島販売(株))
- ・3月8日 ミシンの修理(大鳥ミシン(株))
- ・3月8~9日 送迎バス(1台)法定1年点検(日産プリンス広島販売(株))

施設の利用状況（平成24年度）

(1) デイサービス利用者数

\* 作業室

登録者数	31 人
(うち新規登録者)	0 人
利用延べ回数	6,535 回
給食提供食数	6,455 回
入浴提供回数	360 回
送迎提供回数	11,074 回

\* 重介護サービス室

登録者数	19 人
(うち新規登録者数)	0 人
利用延べ回数	1,625 回
給食提供食数	1,496 回
入浴提供回数	984 回
送迎提供回数	2,850 回

(2) 使用許可件数

機能 訓練室	利用件数	件
	利用人数 障害者	0 人
	介助者等	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	0 人

会議室 ①	利用件数	37 件
	利用人数 障害者	114 人
	介助者等	225 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	339 人

和室	利用件数	4 件
	利用人数 障害者	3 人
	介助者等	14 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	17 人

会議室 ②	利用件数	件
	利用人数 障害者	人
	介助者等	人
	一般	人
	有料利用者人数	人
	無料利用者人数	人

\* 教室事業利用者数

	障害者	介助者	ボラン ティア	計
絵画	129	27	35	191
手工芸	60	16	49	125
陶芸	189	37	62	288
カラオケ	209	84	27	320
書道	123	19	61	203
染めと織り	169	45	42	256
フラワーアレンジメント	48	24	30	102
ヨーガ	37	11	0	48
計	964	263	306	1,533 (人)

\* ボランティア、実習生等受入数  
ボランティア 915 人  
実習生 50 人

(3) 使用拒否等の件数・理由〈年月日、相手方の住所・名前、理由〉

0 件

(4) 有料利用者数

0 人

(5) 減免対象者数・理由

126 人 理由:障害をもつ方の生きがい対策及び福祉の向上のため

(6) 利用料金収入額 (別添2のとおり)

円

(内訳)

介護給付費	
定率負担	
給食・入浴の実費	

介護給付費、定率負担額については、  
地域生活支援事業分も含んだ額

(別添2)

## 平成24年度館内研修

	研修名	期間	時間
1	新任職員研修	4月3日～17日	9:00～10:00 15:30～17:00
2	新任職員研修	5月14日～28日	9:00～10:00 15:30～17:00
3	アロマーセラピー研修	5月18日	16:00～18:00
4	ヨーガ講習	6月12日	16:00～18:00
5	介護技術研修	7月5日	16:00～18:00
6	新しい自立支援法について (第1回)	8月30日	16:00～18:00
7	地域への広報の仕方	9月11日	16:00～18:00
8	新しい自立支援法について (第2回)	9月19日	16:00～18:00
9	接遇研修	9月28日	16:00～18:00
10	新しい自立支援法について (第3回)	10月4日	16:00～18:00
11	アサーティブコミュニケーション ①研修	10月25日	16:00～18:00
12	防災研修	10月30日	16:00～18:00
13	アサーティブコミュニケーション ②研修	11月15日	16:00～18:00
14	カラーコーディネート	12月13日	16:00～18:00
15	行動障害についての対応方法	2月9日	16:00～18:00
16			
17			

平成24年度館外研修実施			
	研修名	日時・場所	参加者
5月	人権擁護研修(基金)	5月22日 県社協	松森
	送迎車両安全運転講習会	5月23日 エディオンスタジアム広島	下山
6月	クレーム対応研修	6月5日、6日 県社協	松森
	食中毒予防講習会	6月21日 広島市保健所	上田
	ファシリテーション研修	6月21日 県社協	鍵山
7月	人材確保支援セミナー	7月4日 県社協	赤木所長
	指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修	7月18日 東区民文化センター	松森
8月	安全運転管理者等法定研修	8月2日 広島県免許センター	林田
	手をつなぐ育成会職員夏季研修	8月4日 育成会本部	全員
	社会福祉法人新会計基準研修	8月7日 県社協	北谷
	記録の方法と活用研修	8月21日 県社協	川瀬
9月	障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会(ベーシックコース)	9月7日～9日 戸山サンライズ	石本
	スーパーバイザー養成基礎研修①、②	9月4日、5日 県社協	仲山
10月	中堅職員 福祉職員生涯研修	10月1日～3日 県社協	土手
	労務管理力向上セミナー	10月30日 県社協	松森
	防火講習会	10月30日 広島市総合防災センター	西本
11月	リスクマネジメント研修	11月5日 県社協	吉田
	障害者地域生活支援従事者研修会	11月6日～9日 戸山サンライズ	谷口
	スーパーバイザー養成研修③	11月8日 県社協	仲山
	感染予防研修(基金)	11月12日 県社協	九十歩
	広島県知的障害者福祉大会	11月18日 東広島市中央生涯学習センター	赤木所長 松森 仲山
	中堅職員共感コミュニケーションセミナー	11月19日 県社協	岡本
	広島県サービス管理責任者研修会①	11月30日 西区民文化センター	仲山
12月	きらっと光る人生を考える研究大会	12月1日 広島市青少年センター	赤木所長 松森
	面接技術スキルアップ研修	12月4日 県社協	林田
	中堅職員のためのコミュニケーション研修	12月7日 県社協	大丸

別添2

	広島県サービス管理責任者研修②、③	12月18日、19日 広島県立総合体育館	仲山
	スーパーバイザー養成基礎研修④	12月21日 県社協	仲山
1月	「個別支援計画」作成及び運用に関する 研修会	1月26日、27日 戸山サンライズ	吉田
	広島県障害者相談支援従事者 「現任」研修	1月28日～30日 広島県情報プラザ	松森
	食事・口腔ケア研修	1月30日、31日 広島県地域保健医療推進機構、 県社協	澤村
2月	高齢者・障害者施設が被災するとき	2月11日 県社協	赤木所長
	メンタルヘルス研修	2月20日 県社協	竹中
	虐待防止・権利擁護研修	2月20日 育成会本部	石本
	スーパーバイザー養成基礎研修⑤	2月26日 県社協	仲山
	スーパービジョン基礎研修	2月27日 県社協	下山
	障害者虐待防止・権利擁護研修	2月27日 広島市東区民文化センター	林田
3月	社会福祉施設(通所型)防災安全研修	3月6日 広島市総合防災センター	岡本



広島市東部障害者デイサービスセンター自己評価表

《評価期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日》

項目	評価項目	評価	現状と対策		
1 人権への配慮	(1)人権の尊重	① サービス提供の理念や基本方針が明示され、それらが事業計画等に具体化されているか。 ② 利用者の希望や意見が施設運営に反映されているか。 ③ 職員の接し方は、利用者一人ひとりの尊厳を守っているか。	A A A	問題なし。 問題なし。本人の意見はもちろんのこと、意思疎通の状況により、保護者の意向も取り入れるようにしている。 問題なし。職員の倫理綱領、及び行動規範を毎朝3文ずつ読みあわせをして確認することで身につくようにしている。	
	(2)プライバシーの保護	① プライバシーに配慮した施設運営を行っているか。	A	問題なし。一人一人の方のケースに関して配慮し職員間で常にそのことを念頭に置き対応するように注意している。	
	(3)人権の擁護	① 体罰等(拘束、暴言、暴行、無視、放置等)の人権侵害の防止策、及び万が一に備えた対応方法が定められているか。	A	問題なし。日頃から会議等でとりあげ、体罰等の行われていないことを確認するとともに、接し方等の研修を行っている。	
		② 施設利用は、相談や苦情申し立てができる体制になっているか。	A	問題なし。本人、家族、本人が信頼している第三者からもできる体制にしている。	
	(4)主体性の尊重	① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされているか。	A	問題なし。日常的な関わり合いを通じて、一人一人にあったコミュニケーション手段やサインの発見、確認に努めている。	
		② 利用者の主体的な活動を尊重しているか。	A	問題なし。プログラムも利用者が企画から参加している。	
		③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援体制は十分できているか。	A	問題なし。利用者の動きに合わせて職員の立ち位置等も工夫し朝礼時に利用者の動きに対して職員配置を全体に周知するようにしている。	
	2 利用者に応じた個別支援プログラム	(1)施設利用の相談と選択	① 利用者や家族等には施設サービスの内容を十分理解した上で、施設利用を選択するように支援しているか。	A	問題なし。通所相談のときから見学、体験してもらい施設サービスの内容を理解してもらったうえで契約をしている。又随時利用者、家族の質問に答えて内容の理解に努めている。
		(2)個別支援計画の策定	① 個別支援計画の策定にあたっては、利用者の状況を十分に把握しているか。	A	問題なし。ケース担当が日ごろから利用者と連携をとり、ニーズを把握している。
			② 個別支援計画の策定や見直しのために会議を開催しているか。	A	問題なし。ケース会議を定期的に行っており、個別支援計画は会議の上で職員全員の意見を取り入れ共通認識している。
③ 個別支援計画の内容は具体的で、同時に利用者(及び必要に応じて家族等)との合意がえられているか。			A	問題なし。定期的に懇談を行い、それに基づいて個別支援計画を作成している。	
(3)個別支援計画の実施		① 提供されているサービスは、個別支援計画に基づいて行われているか。 ② サービスの適否を確かめ、必要に応じて改善を図っているか。	A A	問題なし。定期的に個別支援計画を見直しているため、この計画に基づいて実施されていることの評価をしている。 問題なし。	
(4)エンパワメントの視点	① 利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがあるか。	A	社会生活力を高められるような学習・支援プログラムの検討及び自立支援プログラムの紹介を行っている。		
(5)家族との連携	① 家族には日常的に情報が提供され、必要な場合はいつでも連絡できるか。	A	問題なし。連絡ノートにて日々連絡を行い、質問や問い合わせには即時対応をしている。		
3 日常生活支援サービス	(1)食事	① 個別支援計画に基づいた食事サービスが用意されているか。	A	問題なし。施設、調理委託事業者、栄養士と定期的に話し合いを持っている。	
		② 食事は利用者の趣向を考慮した献立を基本として、美味しく、楽しく食べられるように工夫されているか。	A	問題なし。センターで調理し、暖かいものは暖かく、冷たいものは冷たくと様々な工夫をしている。また、月に1度は季節に合わせた行事食を提供している。	
		③ 喫食環境(食事時間含む)に配慮しているか。	A	食堂のみならず、利用者の状況に応じて室に配膳したりしている。又利用者によっては食事時間の工夫をしている。	
	(2)入浴	① 入浴は個人的事情に配慮しているか。	A	問題なし。定期的に入浴会議を開き、看護師も交えて、利用者の個人的体調や障害に関して配慮している。	
		② 入浴は、利用者の希望に沿って行われているか。	A	問題なし。前の月に利用者の希望を確認し利用回数の調整をしている。利用者の希望はこまめに聞いて、希望に沿うように対応している。	
		③ 浴室、脱衣場等の環境は適切か。	A	問題なし。必要に応じてカーテンやフラインド、を増設しており適宜活用している。エアコンで温度調整も行なっている。	
	(3)排泄	① 排泄介助は快適に行われているか。	A	問題なし。緊急時以外は完全同姓介助をしている。	
		② トイレは清潔で快適か。	A	問題なし。清掃事業を委託し、毎日2回掃除をしている。	
	(4)健康管理	① 日常生活管理は適切か。	A	保護者、医師、看護師と連携をとりながら生活管理をしている。	
		② 内服薬、外用薬等の扱いは確実に行われているか。	A	看護師と連携し何重にもチェックしている。	
	4 生活環境の整備	(1)生活環境の整備	① 施設の建物ならびに施設周辺は、定期的に点検、整備されているか。	A	問題なし。安芸区総合福祉センター生活課で一体管理されている。
			② 一人になれる場所や部屋、または少人数でくつろげる場所や部屋があるか。	A	静養室、廊下コーナー、畳コーナー等にカーテンやパーテーションを利用して、少人数でくつろげるよう工夫している。
③ 施設周辺の環境への配慮がなされているか。			A	問題なし。安芸区総合福祉センターと一体となっており、周囲の環境は良い。	
(2)衛生面の配慮	① 施設及び周辺の衛生は適切に維持されているか。	A	問題なし。センター及び安芸区福祉センターの清掃事業者が随時清潔に清掃をしている。		
5 地域との連携	(1)地域との交流	① 地域への施設に対する理解促進と地域への施設開放を図っているか。	B	施設は完全に開放しており、いつでも誰でも来所出来る環境にしているが場所が建物の4階にあり、看板もないので必要な方しか訪問しにくくなっている。	
		② 他施設を含む、地域との交流を進めているか。	A	安芸区民祭りへの利用者と共に参加している。自立支援協議会安芸支部会の会議に出席し、他の施設職員と一緒に話し合いを持っている。	
		③ 地域に施設の情報を伝えているか。	A	東部デインニュース、年報当を通して定期的に情報を流している。	
	(2)地域生活支援サービスの実施	① 施設、ないし法人は、何らかの地域生活支援サービスを行っているか。	A	法人は相談支援従事者を配して地域生活相談に応じている。施設でも地域の方の相談を受け付け、ケアマネジメントの手法で他組織と連携をとっている。	
(3)ボランティアの受け入れと育成	① ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。	A	問題なし。毎年定期的にボランティア講座を開設し、その後ボランティアとして活動してもらっている。担当を設けてボランティア支援をしている。		
(4)地域内の諸機関との連携	① 地域の諸機関との連携は適切か。	A	必要に応じて地域の諸機関とは連携をとっている。		
6 職員の研修	(1)施設内研修	① 施設内研修は計画的に実施されているか。	A	研修の担当者を設け、担当を中心に計画的に研修を実施している。	
		② 専門的サービスのための研修を積極的に行っているか。	A	講師を招き、積極的に研修を実施している。	
(2)施設外研修	① 外部機関の行う研修に参加させているか。	A	外部機関が行なう研修の情報収集を行ない、参加させている。		
7 緊急時の対応	(1)火災や震災等への対応	① 施設として火災や震災への対応は適切か。	A	マニュアルあり。安芸区総合福祉センター防災訓練(9月)実施。施設独自でも避難訓練を行なっている。	
	(2)事故や急病への対応	① 利用者の事故や急病への対応は十分か。	A	緊急マニュアル、個別緊急連絡カード、看護師による個別ケース対応マニュアル等で対応している。	
	(3)緊急時の協力体制	① 関係機関との連携が図られているか。	B	関係機関と常に連絡・連携を取るようになっているが、緊急時に地域の支援体制が未整備である。	

総合評価	A
1. 人権への配慮	A
2. 利用者に応じた個別支援プログラム	A
3. 日常生活支援サービス	A
4. 生活環境の整備	A
5. 地域との連携	A
6. 職員の研修	A
7. 緊急時の対応	A

## 平成24度 事業報告書

広島市就労支援センター

### I. 事業目的

広島市内の就労支援施設・小規模作業所等における仕事の受注拡大や製品の販路開拓・新商品の開発等を図り、小規模作業所等における事業を振興し、利用者の「社会参加と自立」を支援する。

### II. 事業内容

#### 1 販路開拓・新商品の開発

##### (1) 製品受注販売活動

###### ①市・外郭団体、民間団体、個人、企業からの受注販売

○広島市契約部、社協、勤労市民課・高齢福祉課・障害福祉課・人権啓発課  
・保健医療課・秘書課（文具・記念品・表彰品等）・広島市精神保健センター

○市議会事務局（クッキー詰め合わせセット等）

○広島市役所1階ロビー販売 6月19日～2月26日（12月は1回） 毎週火曜日

○安佐北区役所1階ロビー販売 6月5日～3月26日 毎週火曜日

○損保ジャパン社内販売 4月4日～8月29日 毎週水曜日 集中販売（2月5日間）

###### ②個人、団体からの通信販売

##### (2) 製品常設展示店の販売活動

①「僕らのアトリエ店」 広島市役所1Fロビー、育成会総合福祉センター内

②「生協ひろしま」（10店） 焼山、東広島、安東、五日市北  
温品、高陽、矢野東、船越、西風新都、福山ハモンズ

③レストハウス（平和グッズ）・現代美術館

④JR南口販売、市民病院・中電病院・土谷病院売店、アステールレストラン

⑤喫茶いくせい広島ビッグウエーブ店、NHK販売

⑥安佐動物公園・植物公園

⑦レストラン神田山・宮浜グランドホテル・宮島稲田屋

##### (3) 製品展示即売会の開催・参加

・横川ふしぎ市・ビッグウエーブ感謝祭・中央チャリティーメーデー（4月）・各公民館祭

・フラワーフェスティバル（5月3日～5日）

・スポレク、植物公園グリーンフェア（10月） ・各区民まつり（11月）

・安佐北区社会福祉協議会福祉まつり（12月）

・広商デパート（12月）・セルフフェア開催（12月）・

・僕らのアトリエINアステール 市教育委員会と共催（1月）・

・ふれあいの広場ジョイントコンサート（マーガレットコンサート）（1月）

・「作業所商品見本市」の開催 9月12日 広島市中小企業会館展示ホール

・特別支援学校文化祭での販売

(4) 下請け作業・内職の斡旋及び取りまとめ

- 株式会社ヤマサキ、三浦商会、株式会社平原建設、株式会社トラスト
- 株式会社プラジョウ、株式会社河内(サンプル貼り等)、株式会社明光堂
- ヤマト運輸 (クロネコメール配達事業)、株式会社カイカ (シール貼・バリ取り)
- 大下大松園ほか (燈籠、正月飾り)、株式会社中本本店(印刷物封入れ)
- ヤマト運輸 (産直販売 北海道ジャガイモ・たまねぎ)、株式会社瀬川食品
- アークライン(印刷物セット)、株式会社創愛、株式会社丸栄、株式会社フリーダム

## 2 経営支援

(1) 情報収集及び提供

- ①作業所訪問を積極的に行う(作業所の実態把握、作業所商品カタログの作成、HP 作成)
- ②センター通信発行 (毎月始め1回発行)
- ③事業活性化のための情報の収集と情報提供

## 3 連絡調整

(1) 関係機関、団体との連絡

- ①健康福祉局 障害自立支援課、精神保健福祉課等
- ②広島市社会福祉協議会
- ③広島県就労振興センター
- ④手をつなぐ育成会
- ⑤中小企業家同友会
- ⑥特別支援学校 (市立・広島・広島北・呉・廿日市・広島中央・広島南)
- ⑦広島市心身障害者福祉センター 心身障害者福祉基金
- ⑧各福祉財団
- ⑨日本セールスレップ協会広島事務局
- ⑩広島市中小企業支援センター⑪広島県商工会連合会、宮島商店街組合
- ⑫広島青年会議所・NPO 法人千羽鶴未来プロジェクト
- ⑬ひろしま菓子博実行委員会
- ⑭広島市立大学情報科学部
- ⑮広島東洋カープ、生協広島

## 4 会議

- ① 運営協議会 (5月前年度の決算、行事实施報告、3月次年度の予算、事業計画案)
- ② 全体研修会Ⅰ 「販路開拓と商品のブラッシュアップ」 8月20日  
講師 (株) ムルク社長 吉清 有三 様
- ③ 全体研修会Ⅱ 「食品衛生」 2月13日  
講師 (株) ミック社長 松岡 信一 様
- ④ 部会(月1回) イベントの運営・見本市の企画運営・その他課題について協議等
- ④ 広島市心身障害者福祉基金管理運営委員会(3月、6月)

## 5 24年度 その他の関連事業報告書

- 24年度心身障害者福祉基金(尾崎基金)に係る事業
- 小規模作業所機能強化事業(継続)

目的 広島市における心身障害者の福祉向上をめざし、心身障害者の自立と社会参加の促進に必要な福祉サービスの充実を図る。

支出額 1,400,000円 (23作業所)

実施期間 24年7月31日～25年3月1日

内容 新商品開発に係る備品の購入、作業の効率・効率向上に係る備品の購入  
作業の安全・衛生に係る備品の購入、ITに係る備品の購入等々

○ 情報発信(IT)機能強化推進事業(継続)

目的 作業所の活動内容や作業所製品の情報発信機能を充実させる。

実施期間 24年7月31日～25年3月1日

支出額 158,000円

内容 ホームページの立上・更新 (2作業所)、商品チラシの作成、基礎・基本の習得 等々

指導者の派遣(2作業所へ5回訪問指導)

全体研修会 2月28日

2作業所より、成果の発表・指導者のワンポイントアドバイス

及び広島市立大学前田教授の講話

○ 販路開拓・技術支援事業(継続)

目的 販路の開拓や新商品の開発・商品の見直し等を通して、利用者の工賃の増額に寄与する。

実施期間 24年7月31日～25年3月1日

支出額 400,000円

内容 専門家を4作業所に派遣し、販路開拓及び新商品の開発や商品の見直し等の支援を行う。

全体研修会 2月25日

4作業所より成果と課題について発表

専門家によるワンポイントアドバイス

○ チャンスを手にする見本市事業

目的 障害者作業所商品の情報発信及び販路開拓  
障害者作業所に対する理解・啓発

実施期間 24年7月31日～25年3月1日

支出額 150,000円

内容 作業所商品の展示販売・実演・試食

商品に対する評価やアドバイス

ご案内企業・官公庁様とのビジネスチャンスのきっかけ

場 所 広島市中小企業会館 展示ホール1区画